

令和2年度
沖縄振興特別推進交付金

普天間飛行場跡地利用計画策定調査業務委託
報告書（概要版）

令和3年3月
沖縄県
宜野湾市

1. 目的

普天間飛行場の跡地利用計画策定に向けた「全体計画の中間取りまとめ」をもとに、「今後の計画づくり」に向けた取り組みの推進及び「県民・地権者との合意形成」、「跡地利用情報の発信」等を実施するものである。

また、西普天間住宅地区跡地や西海岸地域等の普天間飛行場周辺の開発計画や跡地利用計画との調和及び連携を図りながら、令和元年度に引き続き有識者等による会議を設けて、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）（事務局案）」の作成に向けた検討を行う。

2. 全体計画の中間取りまとめ（第2回）（事務局案）について

「全体計画の中間取りまとめ」の策定以降、検討の深度化に伴う計画条件の更新や広域都市基盤に関する検討の進展により、「全体計画の中間取りまとめ」で示した計画条件から変更が生じている。そこで、「全体計画の中間取りまとめ」以降の検討経過、社会状況等の変化を踏まえ、跡地利用計画の策定に向けた中間的な成果を更新し、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」の作成に向け事務局案を作成した。

今後、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）（事務局案）」をもとに「（仮称）普天間飛行場跡地利用計画中間取りまとめ検討委員会」において、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）（委員会案）」の提言を取りまとめた委員会案をもとに、沖縄県および宜野湾市が「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」を策定する。

2-1. 全体計画の中間取りまとめ（第2回）（事務局案）

（1）跡地利用の目標と実現に向けた取組

「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画【改定計画】」、「広域構想」等の広域計画や「基本方針」を踏まえて、跡地利用の目標等を取りまとめ、跡地利用計画の策定に向けた前提として位置づけ

（2）跡地利用の将来像

「世界に誇れる優れた環境の創造」を目指すべき跡地の将来像と捉え、状況や時代のニーズが変化しても、普天間飛行場の持つ地力を活かせる「揺るぎないまちづくりの方向性」を位置づけ

（3）計画づくりの方針

「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画【改定計画】」や「広域構想」等の広域計画、「行動計画」にもとづき進められてきた関連調査等による計画分野別の検討成果（環境づくり、土地利用及び機能導入、都市基盤整備、周辺市街地整備との連携）を踏まえ、「計画づくりの方針」を示すとともに、「計画内容の具体化」段階における今後の取組の方向を提示

（4）空間構成の方針

「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」にもとづく県民、市民及び地権者からの意見聴取や跡地利用への参加を呼びかける情報発信等に向けて、目標とする跡地利用の姿をわかりやすく表わすために、「計画づくりの方針」をもとに土地利用や都市基盤施設の配置の方向を表わした「空間構成の方針」を取りまとめ

（5）今後の取組内容と手順

今後、「全体計画の中間取りまとめ（第2回）」をもとに、関係者との合意形成、機能の誘致活動、基地内の立ち入り調査等に取り組み、跡地利用の実現に向けた課題にも対応しつつ、各計画分野の計画づくりの熟度を高めて、「跡地利用計画」を策定

ここでは、これまでの検討成果にもとづき、跡地利用計画策定に至る「計画内容の具体化」段階における主要な取組の内容や手順等を取りまとめ

2-2. 部分的な検討の深度化

今後の検討課題の抽出として、下記の内容について部分的な検討の深度化を行った。

(1) 道路ネットワークと普遍的資源の整合性の確認

沖縄県道路街路課の検討案における道路の分類、路線数、車線数、起終点の考え方に加え、「宜野湾市都市計画マスタープラン」の更新作業段階での意見交換等、鉄道・広域幹線道路のこれまでの検討状況を踏まえつつ、跡地利用における利便性や快適性等も考慮し、道路ネットワークイメージを検討した。

(2) 普遍的資源の配置を尊重した道路配置の検討及び今後の検討課題

「整合性確認の基本的な考え方」を踏まえた案を複数検討し、各案に生じる不具合・配慮事項と今後の検討課題を整理した。

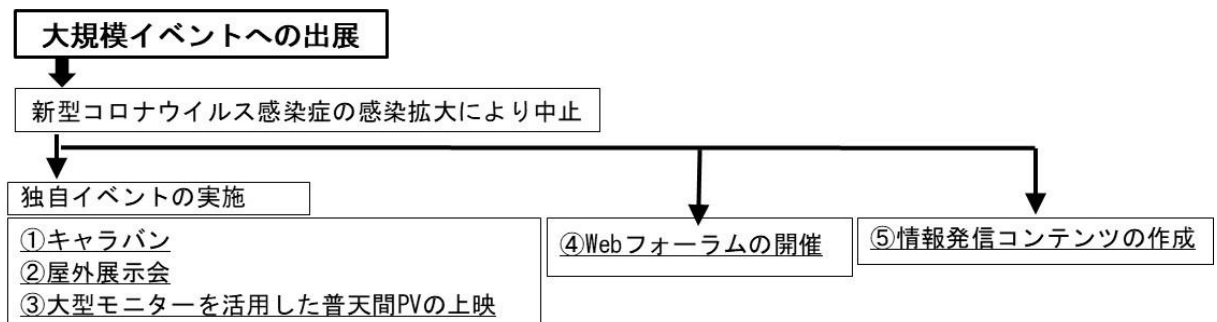
(3) 断面的な部分検討による今後の検討課題の抽出

中部縦貫道路等が地層に与える影響・課題等の整理するために、断面的な部分検討を行い、今後の検討課題を整理した。

3. 合意形成や情報発信に向けた取組み

(1) 跡地利用計画についてのイベント（展示会）の企画・開催

多数の来訪者が訪れる県内の大規模イベントへの出展が最も効果的であったことから、「沖縄県トータルリビングショウ」への出展を検討していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、中止となった。代替案として、下記の①～⑤におけるイベント開催に向けた検討を行った。



(2) ホームページの更新

昨年度に作成したPVや最先端技術と融合した「みどりの中のまち」イメージなど新たなコンテンツを順次格納し、サイトのアップデートを行い、地権者、県民・市民に情報発信の充実を図った。

【更新項目】

- ・ トピック画像（みどりの中のまちづくり）等の修正
- ・ 昨年度作成のPVの挿入
- ・ 最先端技術と融合した「みどりの中のまち」イメージの追加
- ・ その他、リンクが切れているURLの更新

4. 関連部局が実施する調査や策定する計画の反映

(1) 関係部局の取組状況及び調整状況

平成 30 年度に整理された「(仮称)中部縦貫道路」及び「(仮称)宜野湾横断道路」の道路整備のあり方等を踏まえ、今年度は、宜野湾横断道路（西側区間：新設 IC～西海岸道路）について概略検討が進められている。

上記の宜野湾横断道路（西側区間）は、基地跡地を通過するルートとなるため、関係部局の検討に際して、跡地利用側からの調整項目として、以下の 4 項目を提示した。

【調整項目】

- ①宜野湾横断道路及び中部縦貫道路の今年度検討及び県道路計画上の位置づけ
- ②普天間飛行場跡地内の重要遺跡に配慮したルートの設定
- ③効率的な跡地利用を図るための中部縦貫道と宜野湾横断道路の交差角（直角またはそれに近い角度）の設定
- ④跡地西側における、跡地西側の土地利用や斜面緑地への影響（法面等の面積最小化）を考慮した構造の設定

5. 有識者検討会議の開催

平成 25 年 3 月に策定された「全体計画の中間取りまとめ」をもとに、「全体計画の中間取りまとめ（第 2 回）」の策定に向けて、分野別により深度化した議論を促すため、土地利用及び都市基盤整備、周辺市街地整備との連携等に係る事項について検討を行う「土地利用検討等部会」と歴史文化資源及び自然環境資源の保全活用に係る事項について検討を行う「普遍的資源検討部会」の 2 つの作業部会に分けて、有識者検討会議を実施した。

開催時間	検討内容
普遍的資源検討部会（第 1 回） 令和 2 年 10 月 30 日（金）	1. 「全体計画の中間取りまとめ（第 2 回）」作成に向けた進め方について
土地利用等検討部会（第 1 回） 令和 2 年 11 月 6 日（金）	2. 「全体計画の中間取りまとめ（第 2 回）」の更新について（構成、位置づけ、跡地利用の目標と実現に向けた取組、跡地の将来像、計画づくりの方針）
土地利用等検討部会（第 2 回） 令和 3 年 1 月 29 日（金）	1. 第 1 回作業部会における主な意見
普遍的資源検討部会（第 2 回） 令和 3 年 2 月 4 日（木）	2. 「全体計画の中間取りまとめ（第 2 回）」（事務局素案）について
土地利用等及び 普遍的資源検討部会（第 3 回） 令和 3 年 3 月 17 日（水）	1. 第 2 回作業部会における主な意見 2. 全体計画の中間取りまとめ（第 2 回）（事務局素案）について

6. 海外の現地調査を踏まえた先進事例調査

(1) 目的

環境づくりやインフラ整備が最先端の産業誘致等に成功し、地域の価値や魅力を高めている海外及び国内の先進事例を研究し、普天間飛行場跡地にあるべき環境づくり、クラスター形成等によるまちづくりのあり方について、各種文献調査を実施し、各分野の「計画内容の具体化」の参考とした。

なお、本調査当初は、海外先進事例の現地調査を予定していたが、世界的なコロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、文献調査による情報収集とした。また、先進事例の要件に合致する国内事例についても調査を進め、現地調査の調整も進めていたが、沖縄県独自の緊急事態宣言の発出や他県における来県自粛要請等の状況を踏まえ、文献調査を中心とした情報収集とした。

(2) 視察先及び調査結果概要

	主要視察先都市・ 案件名・特徴	概要及び調査のポイント等	
フランス	<p><アルプ・マリティーム県 5市町村></p> <ul style="list-style-type: none"> 医療、化学、生命科学、環境など多様な分野の研究開発拠点（ソフィア・アンティポリス）。 	<ul style="list-style-type: none"> 1969年設置の国が推進するイノベーション拠点（約2,400ha）。 企業・研究所数2,230（うち外資224）、拠点内人口3万6,300人（施設・企業の従業員と研究者4,000人、学生5,000人。63ヶ国の出身者）。 	
	<p><パリ市></p> <ul style="list-style-type: none"> 国際水準の産業・科学イノベーション拠点（サクレー）。 	<ul style="list-style-type: none"> 航空宇宙・安全保障・防衛産業、エネルギー、モビリティ、ICT、健康医療を集結した産業拠点（7,700ha）。 都市と自然が融合した豊かな環境や景観を備えた住宅地を有する拠点づくりを推進。 	
スペイン	<p><バルセロナ市></p> <ul style="list-style-type: none"> 良好な都市環境整備として、スマートシティ化を推進した都市。 	<ul style="list-style-type: none"> 「持続可能で環境的にスマートな都市を設計・推進する」ことを目的とした「GrowSmarter」プロジェクトを実施。 住宅や産業等の用途を混在させた拠点ゾーンを整備。 	
	<p><ビルバオ市></p> <ul style="list-style-type: none"> 「ヒューマンスケール・シティ」の理念を実践する再開発都市。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興や環境整備を中心とした都市再開発を推進し、良好な環境が持続し、都市活力を再生。 人流を基本とした交通インフラ（LRT等）の整備。 	
日本	<p><広島市></p> <ul style="list-style-type: none"> 施設緑化と周囲の公園・緑地を連携（NTTクレド基町ビル） 	<ul style="list-style-type: none"> 緑化にあたっては、北側に広がる中央公園や広島城からの景観に配慮し、セットバックした屋上部に広島原風景を体感できる空間として県の木等四季折々の草花を植栽。 	
	<p><町田市></p> <ul style="list-style-type: none"> 都市公園・商業施設の一体開発（南町田グランベリーパーク） 	<ul style="list-style-type: none"> 「すべてが公園のようなまち」をコンセプトに、都市公園、商業施設、文化的活動拠点のパークライフ・サイトという3つの機能が、まち全体に配した歩行者ネットワークと14の広場空間でシームレスに繋がり、境目を感じることなく歩き回れるウォークアブルなまち 	